

作成日 1995年 6月 8日
改定日 2022年 1月 5日

安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品名	クズコロン液剤
会社名	日本カーリット株式会社
住所	〒377-0004 群馬県渋川市半田 2470 番地
発行部門	安全品証部
電話番号	0279-23-8812
FAX 番号	0279-23-8642
緊急連絡先	同上
整理番号	A-1410
推奨用途	農薬(除草剤)
使用上の制限	上記以外の用途での使用不可

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

該当なし

環境に対する有害性

該当なし

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A

上記に記載がない危険有害性項目は「区分に該当しない」または「分類できない」。

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

警告

H319 強い眼刺激

[安全対策]

P264 取扱い後は手をよく洗うこと。

P280 保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]

- ◆ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ◆ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ◆ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
- ◆ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

[保管]

直射日光を避け、冷暗所に保管すること。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物		
化学名または一般名	2-メキシ-3,6-ジ ^シ クロ安息香酸 ジ ^シ メチルアミン	ホ ^リ エチレン ^グ リコール	水等
別名または慣用名	MDBA ジ ^シ メチルアミン ダ ^イ イソバ ^シ メチルアミン	—	—
成分、濃度または濃度範囲	25.0%	5.0%	70.0%
官報公示整理番号	(化)3-3053 (安)公表	(化)7-129 (安)公表	—
CAS No.	2300-66-5	25322-68-3	7732-18-5

4. 応急措置

飲み込んだ場合	口をすすぐ。気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗う。気分が悪い時は、医師に連絡する。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、耐アルコール泡、二酸化炭素、消火粉末、強化液
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性または毒性のガスおよびヒュームが発生するおそれがある。
特有の消火方法	火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。関係者以外は安全な場所に退去させ、立入りを禁止する。周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	周囲のすべての着火源を取除く。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 漏洩物の上をむやみに歩かない。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入、誤飲を避ける。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	流出した製品が直接河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込めおよび浄化の方法	おがくず、乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。

および機材	大量の場合は、盛土で囲って流出を防止する。 付着物、回収物などは、速やかに専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
-------	--

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 技術的対策 安全取扱い注意事項 接触回避 衛生対策 保管 安全な保管条件 安全な容器包装材料	適切な保護具を着用し、蒸気を吸い込んだり、眼や皮膚に触れたりしないようにする。 取扱いは屋外または換気の良い場所で行い、みだりに蒸気やガスを発生させない。 — 取扱い後は、手、顔などをよく洗う。 直射日光を避け、冷暗所に保管する。 —
---	--

8. ばく露防止および保護措置

許容濃度等 管理濃度 設備対策 保護具 呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚および身体の保護具	未設定 取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 防じんマスク 不浸透性保護手袋 ゴーグル型保護眼鏡 不浸透性作業衣、ゴム長靴
--	--

9. 物理的および化学的性質

物理状態 色 臭い pH 融点／凝固点 沸点、初留点および沸騰範囲 引火点 可燃性 爆発下限界および爆発上限界 ／可燃限界 蒸気圧 密度または相対密度 相対ガス密度 溶解度 n-オクタノール／水分配係数 自然発火点 分解温度 粘度(動粘性率) 粒子特性	液体 褐色透明 データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし 1.08～1.10(20°C) データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし
--	---

10. 安定性および反応性

反応性／化学的安定性	常温常圧で安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	常温常圧では発生しない

11. 有害性情報

急性毒性	経口: MDBA ジメチルアミン: ラット♂LD ₅₀ =2155mg/kg(区分 5) ラット♀LD ₅₀ =3083mg/kg(区分 5) ポリエチレングリコール: ラット LD ₅₀ >5000mg/kg(区分に該当しない) 加算式で ATE>5000mg/kg より、区分に該当しないとした。 経皮: MDBA ジメチルアミン: ラット♂♀LD ₅₀ >5000mg/kg (区分に該当しない) ポリエチレングリコール: データなし(分類できない) 加算式で ATE>5000mg/kg より、区分に該当しないとした。
皮膚腐食性／刺激性	吸入: (蒸気/ミスト)データなし(分類できない) MDBA ジメチルアミン: ウサギ刺激性なし(区分に該当しない) ポリエチレングリコール: 準陰性 以上のデータより、区分に該当しないと考えられるが、分類に必要な十分なデータがないため、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性	MDBA ジメチルアミン: ウサギ軽度の刺激および浸蝕性あり(区分 2A) ポリエチレングリコール: 類似品で軽度の刺激性あり(区分 2B) 以上のデータより、区分 2 の成分≧10%のため、区分 2 とした。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	MDBA ジメチルアミン: モルモット感作性なし(区分に該当しない) ポリエチレングリコール: データなし(分類できない) 分類に必要な十分なデータがないため、分類できないとした。
生殖細胞変異原性	Ames 試験: 陰性 分類に必要な十分なデータがないため、分類できないとした。
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回曝露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復曝露)	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	MDBA ジメチルアミン: 魚類(コイ) 96h EC ₅₀ >1000mg/L(区分に該当しない) 甲殻類(オミジノコ) 48h EC ₅₀ >1000mg/L(区分に該当しない) 藻類 72h ErC ₅₀ >103mg/L(区分に該当しない) ポリエチレングリコール: データなし(分類できない) 以上のデータより、分類できないとした。
残留性・分解性	ポリエチレングリコール: 難分解性
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし(分類できない)

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器および包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報

内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	容器を損傷しないよう丁寧に取り扱う。輸送中の転落、転倒防止処置をとる。
国内規制情報	—
応急措置指針番号	—

15. 適用法令

農薬取締法令	農林水産省登録 第 17374 号
消防法	非該当
毒物劇物取締法	非該当
化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
船舶安全法	非該当
港則法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
航空法	非該当
道路法	非該当
化学物質管理促進法(PRTR)	非該当

16. その他の情報

引用文献	—
記載内容の問い合わせ先	<ul style="list-style-type: none"> ○全般的な窓口 日本カーリット株式会社 化成品部 TEL 03-6685-2046 FAX 03-6685-2050 ○技術的な内容について 日本カーリット株式会社 群馬工場生産技術グループ TEL 0279-23-8896 FAX 0279-23-8480 ○法令・規制等について 日本カーリット株式会社 安全品証部 TEL 0279-23-8812 FAX 0279-23-8642
記載内容の取扱い	この安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253:2019 に従って作成しています。なお、記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。